

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	野洲市地域住宅整備計画												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	野洲市												
計画の目標	市営住宅の計画的な建替・改善・維持修繕の実施により、市営住宅の整備拡充を推進し、誰もが安心して暮らせる住まいづくりを実現する。 空き家住宅、不良住宅等の除却を実施し、居住環境の整備改善及び地域の活性化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	751	A	751	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R5末)
1	市営住宅永原第2団地4号棟の建替 市営住宅永原第2団地4号棟の建替 (進捗率) = (実施した工程) / (永原第2団地4号棟の予定工程)	0%	17%	100%
2	市営住宅における新耐震基準を満たす住宅の割合 市営住宅における新耐震基準を満たす住宅の割合 (市営住宅の新耐震基準率) = (新耐震基準の棟数) / (全棟数)	76%	81%	82%
3	市営住宅におけるエレベーターの既存不適格箇所の改修 市営住宅におけるエレベーターの既存不適格箇所の改修 (既存エレベーターの改修率) = (改修したエレベーターの数) / (4台)	0%	0%	100%
4	市内の不良住宅等の除去 市内の不良住宅等の除去 (10件)	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	野洲市	直接	野洲市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅等ストック総合改善事業)	市営住宅の改善	野洲市						100		策定済
	A15-002	住宅	一般	野洲市	直接	野洲市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅整備事業)	市営住宅永原第2団地の建替等	野洲市						601	1.198093	策定済
	A15-003	住宅	一般	野洲市	直接	野洲市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅ストック総合改善事業)	市営住宅のエレベーターの改善	野洲市						40		策定済
	A15-004	住宅	一般	野洲市	間接	所有者	-	-	地域住宅計画に基づく事業(空き家再生等推進事業)	空き家の除去補助	野洲市						10		策定済
											小計						751		
											合計						751		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 野洲市都市建設部建築住宅課	事後評価の実施時期 令和8年2月
	公表の方法 野洲市のホームページに掲載する
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅永原第2団地4号棟の建替および及びエレベーターの既存不適格の是正により市営住宅の整備拡充を推進し、誰もが安心して暮らせる住まいづくりを実現できた。 ・空き家住宅、不良住宅の除去を実施し、居住環境の整備改善及び地域の活性化を図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化の著しい市営住宅において、建て替え方針、建て替え手法、事業手法等をまとめることができた。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅は、「野洲市営住宅長寿命化計画」等に基づき、住宅の安定的な確保を行いながら、住宅セーフティネットの形成に向け、民間事業者との役割分担を行い、適切な管理を実施する。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	進捗率 = 実施した工程 / 永原第2団地4号棟の予定工程	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	市営住宅の新耐震基準率 = 新耐震基準の棟数 / 全棟数	
	最終目標値	82%
	最終実績値	82%
3	既存エレベーターの改修率 = 改修したエレベーターの数 / 4台	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
4	市内の不良住宅の除去率 = 市内の不良住宅を除去した件数 / 10件	
	最終目標値	100%
	最終実績値	40%
		市民からの不良住宅除去申請が想定より少なかった